

2026年7月15日
東宝株式会社

次世代エンタテインメント創出に向けた戦略的 R&D 投資 (VC ファンド出資) 開始に関するお知らせ

東宝株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 社長執行役員：松岡宏泰、以下「当社」）は、中長期的な企業価値の最大化に向けて、スタートアップへの投資を行う複数のベンチャーキャピタル（以下「VC」）ファンドを対象とした、20 億円規模の戦略的投資（以下「本投資」）を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本投資の目的および背景

当社グループは、映画、IP・アニメ、演劇、不動産を主力事業として展開しておりますが、激変するエンタテインメント市場における持続的な発展と、長期ビジョン「TOHO VISION 2032」に掲げるさらなる成長に向けては、既存の枠にとらわれない新規事業の企画開発が重要となっております。

本投資は、単なる財務的リターンの追求にとどまらず、将来の成長エンジンとなる戦略的リターンの獲得に主眼を置いた、当社の未来を形作る R&D（研究開発）投資と位置づけております。有望なスタートアップの情報を保有する VC の広範なネットワークを活用することで、国内外の最先端テクノロジーや斬新なビジネスモデルを持つ企業と早期に接点を持ち、有望な事業の「種」をいち早く掴む体制を構築いたします。

2. 投資および協業の概要

本投資では、当社の重点領域に合致する創業初期（シード・アーリー）のスタートアップへ投資するファンドから、幅広い領域をカバーし事業化が進んだ有力企業へ投資する大手ファンドまで、厳選した複数の VC ファンドへ出資いたします。

今後は、複数の VC と同時並行で連携を推進しながら、当社もハンズオンでスタートアップと直接接点を持ってまいります。また、単なる出資にとどまらず、事業発掘から協業のテスト実証（PoC）に至るまで、当社の既存事業部門が一体となって伴走・検証を行うことで、確固たるシナジーを創出し、いち早く新規事業化を目指します。

これまでエンタテインメント事業を広く手掛けてきた当社グループのアセットや強みと、スタートアップの斬新な発想や最先端のテクノロジーを掛け合わせることで、既存事業に隣接する領域はもとより、広範な次世代エンタテインメント領域において実効性の高い事業開発を推進してまいります。

3. 業績に与える影響

本投資における出資金は、会計上は貸借対照表において資産計上されるため、当社連結業績に与える直接的な影響は軽微です。今後、業績に開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

本件に関するお問い合わせ先
東宝株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報室、IR 室
E-mail: pr_ir@toho.co.jp